



1. 気象概況（中野市長丘地区気象ロボット観測データによる）

旬別 月間	上旬		中旬		下旬		月間		コメント
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
11 月平均気温（℃）	10.8	8.3	7.8	6.5	5.2	5.0	7.9	6.6	月間平年比+1.3℃（高い）
11 月降水量（mm）	6.0	16.8	0.5	30.9	0.0	22.8	6.5	70.5	月間平年比 9%（極小）
11 月日照量（h）	41.1	47.3	38.1	37.0	41.4	42.4	120.6	126.7	月間平年比 95%（やや小）

● 11 月気象特記 *最高 21.6℃（11/5） 低温：－4.3℃(11/25) 降雨：6.0 mm(11/6) 強風：12.0m/s（11/19）

参考（10 月）：平均気温 14.2℃（やや高い）・降水量平年比 35%（極小）・日照量平年比 85%（小）・9～10 月合計日照量平年比 68.8%

特記：10 月～11 月合計降水量 44.0 mm⇒平年比 28.4%（極小）

- 上旬（平年比）：気温（高）+2.5℃、降水量（極少）36%、日照量（小）87%
- 中旬（平年比）：気温（高）+1.3、降水量（極少）1.6%、日照量（並）103%
- 下旬（平年比）：気温（並）+0.2℃、降水量（極少）0%、日照量（並）98%

2. 品目別生産の経過・病虫害発生状況・今後の対策

露地品目 2018

- 収穫開始：シナノホッペ 11/5、ぐんま名月 11/5～、百年ふじ 11/5～、ふじ 11/10～、赤肉りんご 11/5～
- ぶどう：11/4～抑制ぶどう出荷中、12/2～冷蔵ぶどう出荷予定。わら巻作業、せん定作業開始（平年より早い）
- 南水：平均糖度 14.5%（高い）⇒ 14%以上の比率非常に高い。 玉サイズ：14>16>18 で 7 割と小玉傾向
- ラフ：平均糖度 12%（高い） 追熟程度は平年より遅い傾向 ⇒ 輪紋病小～無（10/10 現在）
- つがる：着色不良 ⇒ 収穫ピーク 9/2。平均糖度：13.2% 玉サイズ：40・36 中心。生産量昨年比 76%。
- 秋映：平均糖度 13.6%（総平均） ⇒ 収穫ピーク 9/28。胴サビ多い（3 年ぶり）。日焼け・落果多く 2 割の減収で終了。
- スイート：平均糖度 14.8%（総平均） ⇒ 曇天により着色不良。芯カビ果の発生小。糖度は昨年より高く推移。
- ゴールド：平均糖度 14.5%（11/12） ⇒ 10 月初旬から縦状裂果発生。炭そ病小。赤色状日焼け（斑点）少ない。
- ぐんま名月：平均糖度 15.0%（11/10） ⇒ 成熟は昨年比 7 日の進み。ツル割れ発生あり。食味良好。
- 赤肉りんご：平均糖度 15%（11/10 現在） ⇒ 11 月に入り果肉発色良好。
- 百年ふじ：平均糖度 16.3%（10/26）。低日照下でも着色良好。糖度上昇も他系統より早い。11/5～一定量収穫可能。
- ふじ①：悪天候により着色上昇遅い。果肉成熟は昨年比 7 日早い見込み。糖度は 10 月初旬で 14%台と高い。輪紋病小。
- ふじ②：10 月中旬以降気温日較差 15℃以上の日を観測し遅れていた着色がやや上昇した。蜜入りは平年より遅い。
- ふじ③：平均糖度 15.7%（11/19） ⇒ 全体に糖度高い。ツル割れ発生少ない。玉流れ 32>28>36 やや大玉傾向か。
- 日焼け：スイート・ふじで重度（壊死）の症状多い ⇒ 減収要因の一つ
- 炭そ病：りんご中生種では昨年より大幅に少なく経過。
- 輪紋病：ふじでの発生は無～小。
- 黒とう病：シャイン M で 7/10～発生。全体の発生量は昨年より少ない模様。
- せん孔細菌病：管内広域で、果実病斑が多発 ⇒ 連続台風により感染拡大（次年度）心配される。
- 黒星病：果実被害は昨年より少ない ⇒ 9 月の悪天候により新梢葉への感染拡大（次年度病斑）が心配される。
- シンクイムシ類：りんご中生種では加害は昨年より少なく経過。
- 生産量（昨年比）：南水 80%・ラフ 100%・りんご秋映 85%・スイート 100%・ゴールド 110%・ふじ 85% *11/20 現在
- 肥大調査 10/15（昨年比）りんご 103%
- プラム：10/10 付けで長果 1 が正式に「シナノパール」として種苗登録完了。